

あそぶ、まなぶ、いきる。



各 位

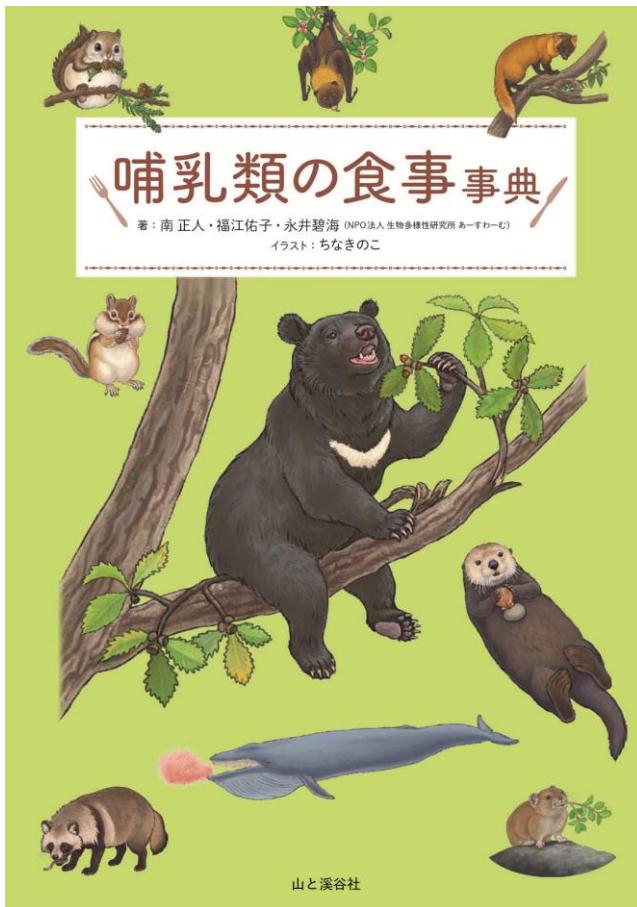
2026年1月19日

株式会社 山と渓谷社

<https://www.yamakei.co.jp/>

旬なものを食べるツキノワグマ、ミミズを頭から食べるモグラ。日本の動物たちの生きざまを「食」からひも解く、『哺乳類の食事事典』発売！

インプレスグループで山岳・自然分野のメディア事業を手がける株式会社山と渓谷社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：二宮宏文）は、2026年1月19日に『哺乳類の食事事典』（著：南 正人・福江佑子・永井碧海、イラスト：ちなきのこ）を刊行いたします。



本書は、日本に暮らす哺乳類約40種をピックアップし、彼らの食事メニューと「ミミズを頭から食べるモグラ」や「地面を掘り返して獲物を探すイノシシ」など、普段なかなか見ることができない野生動物たちの食事の瞬間を人気哺乳類イラストレーター・ちなきのこさんによる生き生きとしたイラストで再現しました。

解説は、哺乳類の専門家で野生動物の保全事業を行うNPO法人あーすわーむのメンバーが担当。動物たちの「食事」の背景にある生態や知恵を面白く解説しており、解説を読むことで動物たちが自然の中でどのように食事をし、命を繋いでいるのか、その生態が見えてきます。

本書は「動物の食事事典」シリーズの第2弾になります（第1弾の『野鳥の食事事典』は2025年9月発売）。

見るだけで面白い！「食事シーン」と「食事メニュー」イラスト

イラストレーター・ちなきのこさんが、コミカルかつ愛らしさを感じるタッチで、日本に生息する約40種の哺乳類たちを描画。一緒に紹介している動物たちの食事メニューは、実際に食べた記録があるものを紹介しています。各動物ページには、その動物の生態がよくわかるコラムイラストも入れており、子どもから大人まで視覚的に楽しめます。



専門家が教える「読んでタメになる解説・コラム」

「里」「山」などエリアごとに約40種の動物たちの食事と、食事に関わる生態を紹介したほか、巻頭には「食事のきほん」として、「食べ物を決める3つの要素」「食べ物の好き嫌い」など食事にまつわ

る基本的な知識を紹介しました。また「貯食するか、体に蓄えるか」「食べ物と歯の形」「食べ物をめぐる人と哺乳類のかかわり」など、一步踏み込んだ専門的な知識をコラムとして分かりやすく解説しています。

動物の食べ物を決める3つの要素

動物は大きく3つに分類される食生活をもつとされています。これら3つは、それぞれの動物が持つ特徴によって決まります。

- 食べた食物から栄養を得るために必要な物質
- その物質を運ぶために必要なエネルギー
- そのエネルギーをもつて生き残るために必要な時間

これらの3つを満たすと、動物は生き残ることができます。しかし、この3つを満たさない場合は、動物は生き残れません。

この3つを満たすためには、動物は様々な方法で行動します。たとえば、**肉食**の動物は、他の動物を捕まえて食べます。一方で、**草食**の動物は、植物を食べます。また、 **omnivore**（オムニバース）の動物は、どちらでも食べます。

動物の食べ物は、必ずしも人間の食べ物ではありません。しかし、人間が動物の食べ物を食べると、動物が生き残るのに必要な時間やエネルギーが奪われる可能性があります。そのため、動物の食べ物を尊重するべきです。

【仕様など】

書名：哺乳類の食事事典

著：南 正人・福江佑子・永井碧海（NPO 法人 生物多様性研究所 あーすわーむ）

イラスト：ちなきのこ

発売日：2026年1月19日

定価：2,090 円（本体 1,900 円 + 税 10%）

A5 版／128 ページ

<https://www.yamakei.co.jp/products/2825230290.html>

【目次】

はじめに

食事のきほん

大きさで食べ物が違う？／動物の食べ物を決める3つの要素／肉を食べる動物／植物を食べる動物／肉も植物も食べる動物（雑食）／群れるか、群れないか／食べ物の好き嫌い

第一章 里の哺乳類

アカネズミ・ヒメネズミ／ハタネズミ／カヤネズミ／ニホンリス・エゾリス／アカギツネ／タヌキ／アナグマ／イタチ類／アライグマ／ハクビシン／ムササビ／ニホンモモンガ・エゾモモンガ／ニホンノウサギ／ニホンイノシシ／モグラ類／ヒミズ類／コウモリ類

第二章 山の哺乳類

ニホンジカ／ニホンカモシカ／ツキノワグマ／ヒグマ／ニホンテン・クロテン／オコジョ・イイヅナ／ヤマネコ類／ニホンヤマネ／トガリネズミ類／カワネズミ／エゾシマリス／エゾナキウサギ／オオコウモリ／ニホンザル

第三章 様々な場所の哺乳類

アシカ類・アザラシ類／ジュゴン／クジラ類／ラッコ／カワウソ／イヌ・オオカミ／ヒト

コラム

毒！ 棘！ タンニン！ 植物の対抗作戦／動物を利用する植物／スペシャリスト・ジェネラリスト／貯食するか、体に蓄えるか／四季を生き抜く～いつ、どのように食べる？～／体の中に牧場？～反芻と糞食～／なわばりを持つ？持たない？／待ち伏せるか、追いかけるか／食べ物と歯の形／食べることと生態系／食べ物をめぐる人と哺乳類のかかわり／動物の食性を知る方法

【著者紹介】

著・南 正人(NPO 法人 生物多様性研究所 あーすわーむ)

京都府生まれ、宮城県の離島・金華山でシカの行動観察を35年間継続。軽井沢・浅間山で自然ガイドとして環境教育やクマのマネジメントにかかわる。元麻布大学教授。科学的な視点と生き物に対する共感を大切にしています。

著・福江 佑子供(NPO 法人 生物多様性研究所 あーすわーむ)

長崎県生まれ、2002年より長野県在住。学生時代はタヌキの生態研究をし、現在はアライグマやハクビシンなどの外来哺乳類の対策など保護管理業務に従事。本書を通じて、哺乳類の視線で自然環境を見ていただきたいと思います。

著・永井 碧海(NPO 法人 生物多様性研究所 あーすわーむ)

千葉県生まれ、アメリカや北海道で自然ガイドや野生動物の調査・啓発の仕事を経て、現在はクマとの軋轢を防ぐ対策やシカの生態系被害の調査などに取り組む。『食事』というテーマから、哺乳類の世界に興味をもって

もらえたなら嬉しいです。

イラスト・ちなきのこ

自然の生き物をモチーフに作家活動をしている。女子美術大学卒。イラスト、雑貨、ぬいぐるみなど様々な作品を制作。フィールドワークが好きで観察記録をつけている。野生動物の魅力や逞しさ、生態を伝える作品を目指しています。

【山と溪谷社】 <https://www.yamakei.co.jp/>

1930年創業。月刊誌『山と溪谷』を中心とした山岳・自然科学・アウトドア・ライフスタイル・健康関連の出版事業のほか、ネットメディア・サービスを展開しています。

さらに、登山やアウトドアをテーマに、企業や自治体と共に地域の活性化をめざすソリューション事業にも取り組んでいます。

【インプレスグループ】 <https://www.impressholdings.com/>

株式会社インプレスホールディングス（本社：東京都千代田区、代表取締役：塚本由紀）を持株会社とするメディアグループ。「IT」「音楽」「デザイン」「山岳・自然」「航空・鉄道」「モバイルサービス」「学術・理工学」を主要テーマに専門性の高いメディア&サービスおよびソリューション事業を展開しています。さらに、コンテンツビジネスのプラットフォーム開発・運営も手がけています。

以上

【本件に関するお問合せ先】

株式会社山と溪谷社 担当：手塚

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町1-105 神保町三井ビルディング

TEL03-6744-1900 E-mail: info@yamakei.co.jp

<https://www.yamakei.co.jp/>